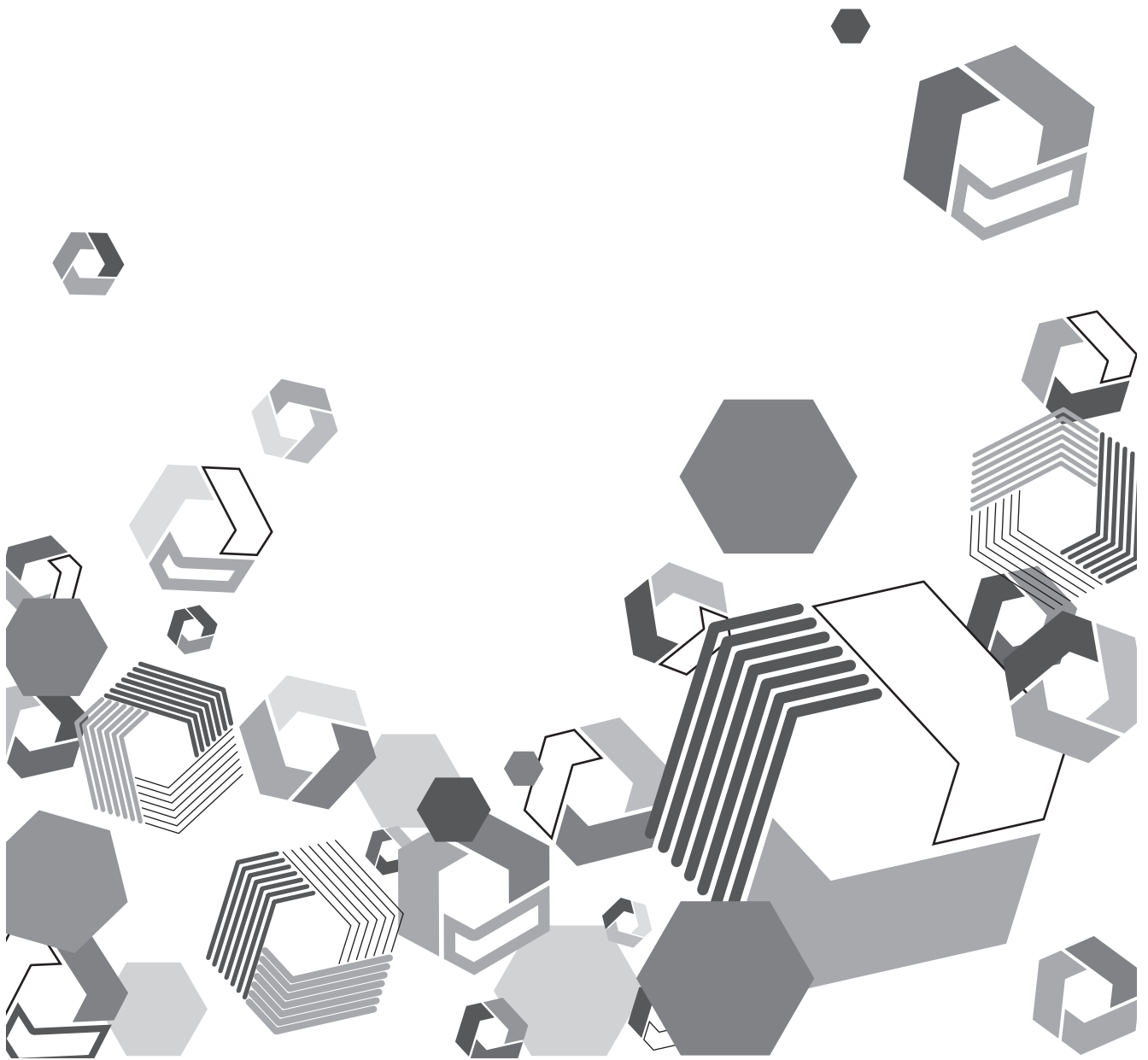


# Panasonic

## 操作説明書

アップグレードソフトウェアキー

品番 **AG-SFU603G**



## もくじ

---

はじめに .....	3
本書について .....	3
アップグレードソフトウェアキーについて .....	3
準備 .....	4
UPLINK 機器制御機能を有効にする .....	4
UPLINK 機器と接続する .....	6
メニューを設定する .....	6
ビューファインダーの状態表示 .....	7
操作 .....	8
UPLINK 機器を操作する .....	8

## はじめに

- SD ロゴは、登録商標です。
- SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておられません。
  - AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
  - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com/>) をご参照ください。

### 本書について

- メモリーカードカメラレコーダー（以下 P2 カム）の操作については、P2 カム（品番：AG-HPX600 シリーズ）の取扱説明書を読み、操作を理解していることを前提に説明しています。
- [ ] の語句は P2 カム側のメニューに表示される内容を示しています。
- 本書では、参照ページを（00 ページ）のように示しています。

#### ■ 本書内のイラストについて

- P2 カム本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

#### ■ 用語について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、どちらも SD メモリーカードと記載しています。

### アップグレードソフトウェアキーについて

アップグレードソフトウェアキー AG-SFU603G は P2 カム AG-HPX600 シリーズの UPLINK 機器制御機能を有効にするアップグレードソフトウェアキーです。

UPLINK 機器制御機能は

- 1 UPLINK 機器のデータ転送のスタートまたはストップの操作に対応します。
- 2 接続状態のアイコン表示および機器詳細情報の表示に対応します。

#### ■ 対応モデル

P2 カム：AG-HPX600 シリーズ

#### ■ キーコードについて

- キーコードは本製品の再登録の際に必要となりますので、関連付けた P2 カムのシリアル番号と合わせて大切に保管してください。

#### ■ P2 カム本体のファームウェアについて

- AG-HPX600 シリーズ本体側のファームウェアバージョンが 10.22-00-0.00 以前の場合、UPLINK 機器制御機能を有効にするためにはファームウェアのアップデートが必要です。ファームウェアに関する最新情報は、下記ウェブサイトの P2 のサポートページを参照してください。  
日本語：<http://panasonic.biz/sav/>  
英語：<http://pro-av.panasonic.net/>
- ファームウェアのバージョンアップの方法は、AG-HPX600 シリーズ本体の取扱説明書の「本機搭載ファームウェアのアップデート」（第 10 章）をご参照のうえ、アップデートを実施してください。

## 準備

P2 カムに UPLINK 機器制御機能を有効にするための準備をします。

### UPLINK 機器制御機能を有効にする

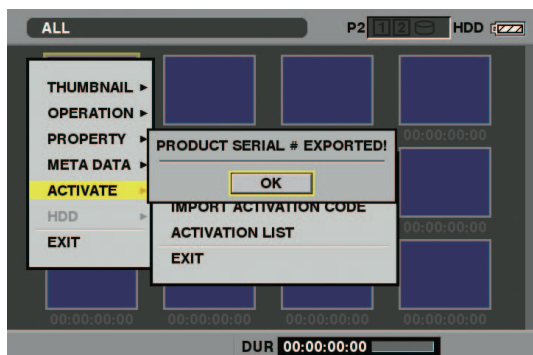
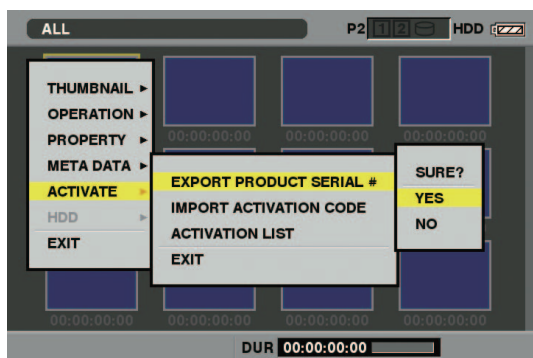
お買い上げ後に P2 カムに UPLINK 機器制御機能を導入する場合は、30 桁のアクティベーションコードを P2 カム本体にインポートして機能を有効にしてください。

アクティベーションコードはアクティベーションコード発行サイトにアクセスし、表示される手順に従って P2 カム本体からエクスポートした機器情報と本製品に同梱のキーコードを認証させることで入手できます。

なお手続きには、SD メモリーカード (P2 カムでフォーマットしたもの) と、SD メモリーカードスロットを搭載したコンピューター、およびインターネット接続環境が必要です。

#### 1 P2 カム本体の機器情報を SD メモリーカードにエクスポートする

P2 カム本体を起動し、SD メモリーカードを挿入して〈THUMBNAİL〉ボタンを押し、[ACTIVATE] - [EXPORT PRODUCT SERIAL #] - [YES] と選択すると、SD メモリーカード内に private/meigroup/pavcn/sbg/p2sd/actv/ というフォルダーが作成され、SERIAL.LST というファイルに P2 カムの機器情報が保存されます。



〈SET〉ボタンを押ししてダイアログ表示を閉じます。

- アクティベーションコードを入手したい P2 カムに対して、1 枚の SD メモリーカードで手順 1 の操作を繰り返すことで、最大 100 台分の機器情報を保存できます。アクティベーションコード発行サイトは SD メモリーカードに保存された複数台数の機器情報をすべて読み取り、複数台数のアクティベーションコードを一括発行することができます。
- エラーダイアログが表示された場合は、SD メモリーカードの挿入状態、書き込み禁止設定、空き容量などを確認してください。
- 予期しないエラーを防ぐためにも、P2 カムでフォーマットした SD メモリーカードの使用をお勧めします。

#### 2 SD メモリーカードを P2 カム本体から抜き、コンピューターに挿入してブラウザから下記のアクティベーションコード発行サイトに接続し、サイトに表示される手順に従ってアクティベーションコードを入手する

日本語 : [http://panasonic.biz/sav/actkey\\_j](http://panasonic.biz/sav/actkey_j)

英語 : [http://panasonic.biz/sav/actkey\\_e](http://panasonic.biz/sav/actkey_e)

#### NOTE

- 手順 1 で作成した private/meigroup/pavcn/sbg/p2sd/actv/ フォルダーは手順 3 で必要になりますので、上記フォルダーを削除したり、SD メモリーカードをフォーマットしないでください。

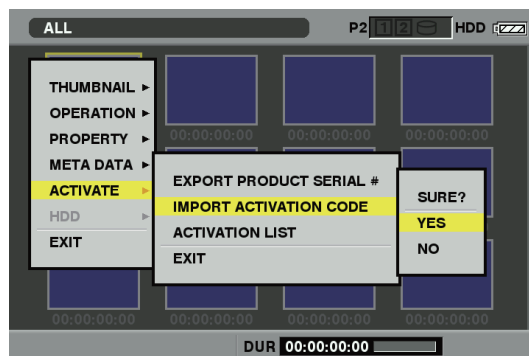
- SD メモリーカード内の、private/meigroup/pavcn/sbg/p2sd/actv/ フォルダーの中に ACTIVE.LST というファイルがすでに保存されている場合、ご使用のブラウザによってはファイル名が自動的に変更される場合があります。上記フォルダーに ACTIVE.LST ファイルがないことを確認してから、保存してください。

#### 3 入手したアクティベーションコードを、手順 1 で作成した SD メモリーカード内の、private/meigroup/pavcn/sbg/p2sd/actv/ の中にサイト内の指示に従って保存し、コンピューターから SD メモリーカードを抜く

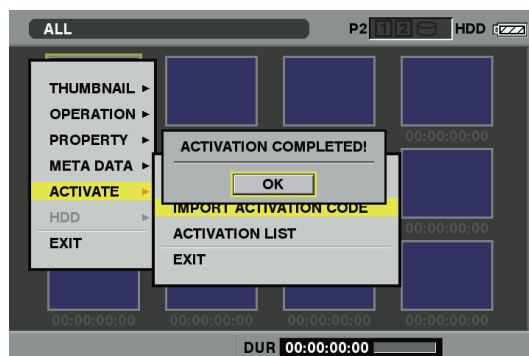
#### NOTE

- コンピューターや OS の種類によっては、SD メモリーカードを抜くのに事前操作が必要な場合があります。

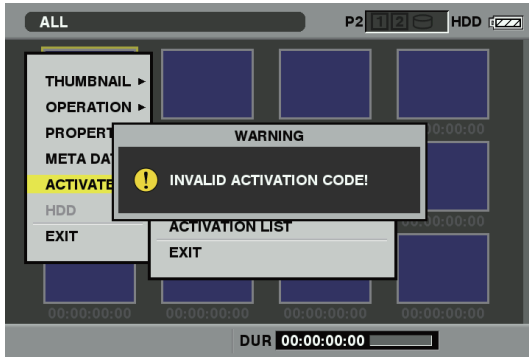
#### 4 P2 カム本体にアクティベーションコードを保存した SD メモリーカードを挿入し、〈THUMBNAİL MENU〉ボタンを押し、[ACTIVATE] - [IMPORT ACTIVATION CODE] - [YES] と選択する



有効化 (アクティベーション) が完了すると [ACTIVATION COMPLETED!] とメッセージが表示されます。



有効化 (アクティベーション) が失敗した場合にはメッセージが表示されます。



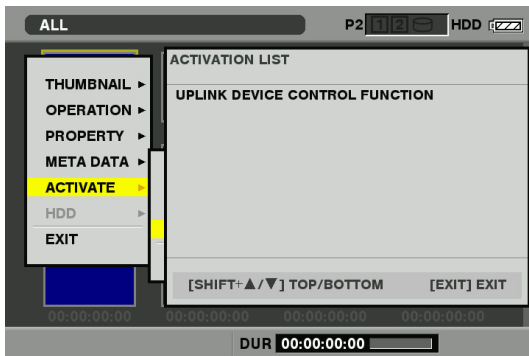
### NOTE

- エラーダイアログが表示された場合は、SDメモリーカードの挿入状態、手順 3 で保存したアクティベーションコードのファイル（ファイル名：ACTIVE.LST）の保存場所などを確認してください。
- AG-HPX600 シリーズ以外の P2 機器の機器情報や本製品以外のキーコードを用いて取得したアクティベーションコードではアクティベートできません。

## 5 P2 カム本体を再起動する

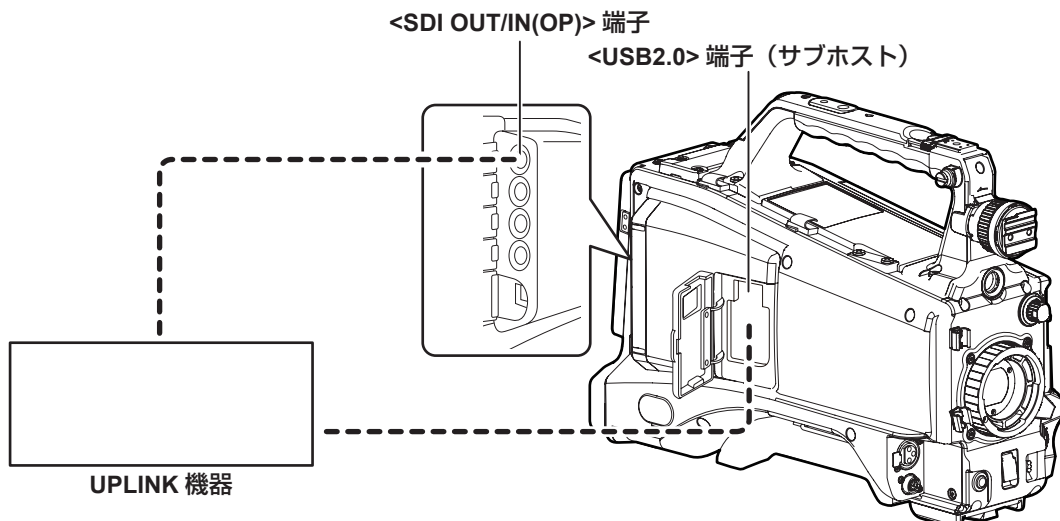
### NOTE

- 上記操作の途中で、SDメモリーカード内データに対して上記手順以外の操作を行うと、有効化手続きができなくなる場合があります。
- 有効化（アクティベーション）が完了すると、UPLINK 機器制御機能で必要なメニューが有効になります。
- 有効化した機能は、[ACTIVATE] - [ACTIVATION LIST] メニューで確認できます。



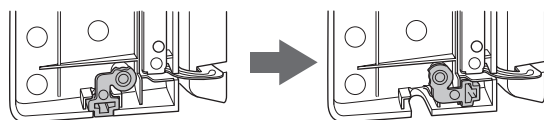
## UPLINK 機器と接続する

SDI ケーブルと USB ケーブルで P2 カムと UPLINK 機器とを接続します。



**1** P2 カム本体の <SDI OUT/IN (OP)> 端子と UPLINK 機器の SDI 入力端子を接続する

**2** P2 カム本体の <USB2.0> 端子 (サブホスト) の扉を開き、扉下部に取り付けられている部品を移動し、ケーブルを通す溝を扉に設ける



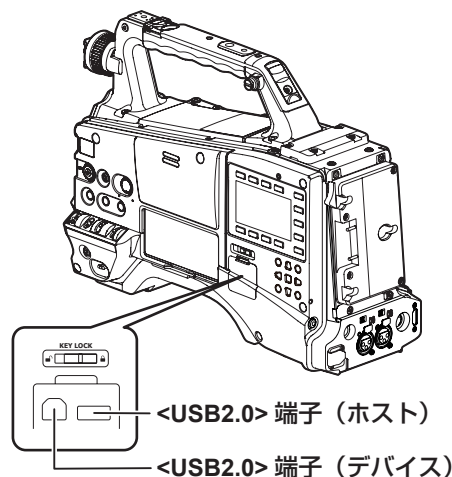
**3** P2 カム本体の <USB2.0> 端子 (サブホスト) と UPLINK 機器の USB 端子を USB 2.0 ケーブルで接続する

**4** USB 2.0 ケーブルを手順 2 で設けた溝に通しながら、P2 カム本体の <USB2.0> 端子 (サブホスト) の扉を閉める

## NOTE

・接続する UPLINK 機器が、P2 カムとの接続に対応していることをご確認ください。

・P2 カム本体の <USB2.0> 端子 (ホスト) および <USB2.0> 端子 (デバイス) は、UPLINK 機器との接続には使用できません。



・UPLINK 機器側の USB 端子および SDI 入力端子は、対応の UPLINK 機器の取扱説明書を参照してください。

・本製品に USB 2.0 ケーブルは同梱されていません。市販の USB 2.0 ケーブル (ノイズ対策のための二重シールド処理が施され、ケーブルの直径が 4.5 mm 以下のもの) をご用意ください。

・USB 2.0 ケーブルは、UPLINK 機器と接続可能な長さで最短のケーブルの使用をおすすめします。

## メニューを設定する

有効化 (アクティベーション) が完了すると下記のメニューが使用できるようになります。

## [PC/USB/LAN] 画面

項目	設定内容	
UPLINK DEVICE	アップリンクデバイスモードの許可、禁止を設定します。	
	[ON]	UPLINK 機器との通信を許可します。
	[OFF]	UPLINK 機器との通信を禁止します。

## NOTE

・[PC/USB/LAN] 画面で、UPLINK 機器制御機能と同時使用できない機能 (例: [PC MODE]、[P2 BROWSE]) を [ON] にしている場合、[UPLINK DEVICE] メニューはブルーアウト表示され [ON] に設定できません。同時使用できない機能を [OFF] にしてから [UPLINK DEVICE] を [ON] にしてください。

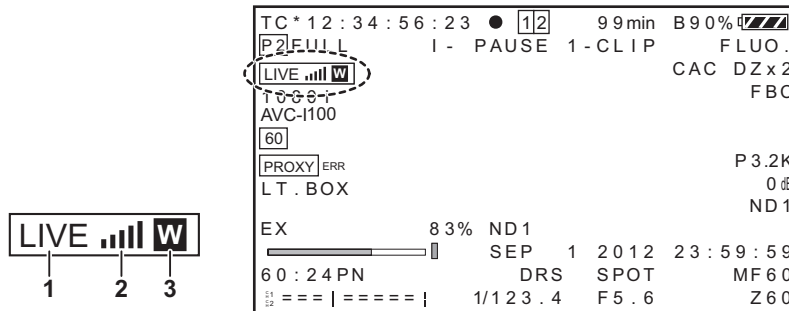
・[UPLINK DEVICE] を [ON] に設定した場合、P2 カム本体の <SDI OUT/IN (OP)> 端子は SDI 出力になります。また、HD SDI REMOTE 機能は動作しません。HD SDI REMOTE 機能に関しては AG-HPX600 シリーズの取扱説明書を参照してください。

## ビューファインダーの状態表示

メニューの [UPLINK DEVICE] を [ON] にし、UPLINK 機器との接続が完了すると、以下の表示内容で機器状態を確認することができます。ただし、〈DISP/MODE CHK〉スイッチが〈OFF〉の場合は表示しません。

## 通常ステータス画面表示

カメラレコーダーのビューファインダー画面左上に UPLINK 機器の状態を表示します。



## 1 ステータス表示部

UPLINK 機器の状態を表示します。

- 下記は一般的な UPLINK 機器接続時の表示例です。  
接続機器により表示内容が異なる場合があります。  
詳しくは、UPLINK 機器の取扱説明書を参照してください。

種類	説明
STBY	UPLINK 機器が起動中です
REDY	UPLINK 機器との通信が完了し、データ転送が可能です
INIT	UPLINK 機器が初期化中です
CNCT	UPLINK 機器との通信を確認中です
LIVE	UPLINK 機器がデータを転送中です

## 2 通信品位部

通信の品位レベルを 6 段階で表示します。

- 下記は一般的な UPLINK 機器接続時の表示例です。



- ステータス表示部の文字数が 6 文字以上の場合は通信の品位レベルは表示されません。

## 3 ワーニング表示部

UPLINK 機器の異常や警告を表示します。

- 下記は一般的な UPLINK 機器接続時の表示例です。

**W** ワーニング点滅表示、**E** エラー点滅表示

- 詳細内容を確認する場合、モードチェック表示で確認できますが、表示内容は UPLINK 機器によって異なります。  
詳しくは、UPLINK 機器の取扱説明書を参照してください。

## モードチェック表示

UPLINK 機器の詳細情報を確認することができます。

〈DISP/MODE CHK〉スイッチを〈CHK〉側に倒し、ビューファインダー画面の左上に [UPLINK DEVICE] と表示されるまで、数回〈CHK〉側に倒して表示させてください。

- 下記は一般的な UPLINK 機器接続時の表示例です。

```
<UPLINK DEVICE>
MODEL NAME:XXXXXX

Warn<XXXXXXXX>
TOTAL BIT RATE:XXXXbps
TRANSMIT MODE:XXXX
BATTERY STATUS:XXX%
MODEM NAME:XXXX
MODEM BIT RATE:XXXXbps
VER.XXXXXX
```

## 操作

### UPLINK 機器を操作する

〈USER〉 ボタンに機能を割り当てることで P2 カム側から、UPLINK 機器のデータ転送の開始 / 停止制御を行います。  
 [SW MODE] 画面にて [UPLINK S/S] を選択し、割り当てた 〈USER〉 ボタンを押すことで開始、または停止モードに切り換えできます。  
 UPLINK 機器の動作状態については、通常ステータス画面表示のステータス表示部で機器状態を確認することができます。  
 詳しくは、UPLINK 機器の取扱説明書を参照してください。

### [SW MODE] 画面

項目	設定内容
USER MAIN	〈USER MAIN〉 ボタンに割り当てる機能を設定します。
	[UPLINK S/S] が選択できるようになります。
USER 1	〈USER 1〉 ボタンに割り当てる機能を設定します。
	設定内容は [USER MAIN] 項目と同じです
USER 2	〈USER 2〉 ボタンに割り当てる機能を設定します。
	設定内容は [USER MAIN] 項目と同じです

### データ転送を開始する場合

一般的な UPLINK 機器接続での操作例です。  
 詳しくは、UPLINK 機器の取扱説明書を参照してください。

#### 1 UPLINK 機器との接続を行う

詳しくは、UPLINK 機器との接続方法 (6 ページ) を参照してください。

#### 2 〈USER〉 ボタンに UPLINK 機器操作機能を割り当てる

設定メニューの [SW MODE] 画面の 〈USER MAIN〉 項目、[USER 1] 項目、[USER 2] 項目で、[UPLINK S/S] をいずれかの 〈USER〉 ボタン (〈USER MAIN〉 / 〈USER 1〉 / 〈USER 2〉) に割り当てます。

#### 3 UPLINK 機器からのデータ転送を開始する

ステータス表示部に [REDY] と表示された状態で、[UPLINK S/S] を割り当てた 〈USER〉 ボタン (〈USER MAIN〉 / 〈USER 1〉 / 〈USER 2〉) を押します。  
 ビューファインダー画面中央部に [UPLINK START] と表示され、ステータス表示部が [LIVE] (転送開始モード) に切り替わりデータ転送が開始されます。

#### NOTE

- [UPLINK START] の表示は一例です。異なる表示が出る場合があります。

### データ転送を停止する場合

一般的な UPLINK 機器接続での操作例です。  
 詳しくは、UPLINK 機器の取扱説明書を参照してください。

#### 1 UPLINK 機器からのデータ転送を停止する

ステータス表示部に [LIVE] と表示された状態で、[UPLINK S/S] を割り当てた 〈USER〉 ボタン (〈USER MAIN〉 / 〈USER 1〉 / 〈USER 2〉) を押す。  
 ビューファインダー画面中央部に [UPLINK STOP] と表示され、ステータス表示部が [REDY] (転送準備モード) に切り替わりデータ転送が停止します。

#### NOTE

- UPLINK 機器接続機能が無効状態または UPLINK 機器と未接続 (通信不可) の場合など操作が無効な場合は、〈USER〉 ボタンを押した時に [UPLINK S/S INVALID] と表示されます。
- [UPLINK STOP] の表示は一例です。異なる表示が出る場合があります。



